

プレスリリース



FUJI GALLERY SHINJUKU 夏の企画展開催！

“Life With Art” 2017 Summer

期間：2017年8月1日（火）- 31日（木）

※8月11日（金）～8月15日（火）休廊

会場：FUJI GALLERY SHINJUKU

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-23-1

ニューステートメナー低層棟2階(2282)

(JR新宿駅南口徒歩7分 / 都営大江戸線新宿駅A1出口徒歩1分)

tel:03-3375-7780 fax:03-3375-1744

e-mail: info@fuji-gs.jp URL: <http://fuji-gs.jp/>

営業時間：平日 12時～19時

土日 12時～18時 入場無料



“Life with Art” 2017 Summer



拝啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

FUJI GALLERY SHINJUKU では、8月1日（火）より、「“Life With Art”2017 Summer」を開催いたします。

2017年春新宿にオープンしたギャラリー「FUJI GALLERY SHINJUKU」は、上質空間に合うモダンアートを扱っています。今回はインテリアデザイナーやインテリアコーディネーターを企画に交え、日常空間をより豊かにするアートを100点以上集めました。生活空間はもちろん、商業的な空間にも合うアートを厳選しています。

「“Life With Art” – 日常にアートを！」

FUJI GALLERY SHINJUKU はアートを通じて日本人の住文化の質の向上を目指します。

是非、貴媒体にて取り上げていただけますよう、お願い申し上げます。

【添付書類】

- 1) 作品画像
- 2) 過去取材記事

【本展に関するお問い合わせ】

取材のお問い合わせ、画像データのご依頼は下記までご連絡ください。

FUJI GALLERY SHINJUKU 担当：佐藤

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-23-1 ニューステートメナー低層棟2階(2282)

tel : 03-3375-7780 fax : 03-3375-1744 e-mail: info@fuji-gs.jp

URL: <http://fuji-gs.jp/> 営業時間：12時～19時（土日休業）

(JR新宿駅南口徒歩7分 / 都営大江戸線新宿駅A1出口徒歩1分 レンガ造りのビル、1階にセブンイレブン)

プレスリリース



【添付書類】

1) 作品画像



“Blue Horse” – Dora Williams

アクリル 29×37cm



“うれしい戻” -入江清美

パネル・石膏・アクリル 43×56cm



“同じ時間の中” – 伊藤朋子

キャンバス・油絵具 194×130cm



“花畠 (entre las flores) ” – むろまいこ

陶・アクリル・インク・紙・モデリングペースト・木パネル 43×40cm

2) 過去取材記事

ザ・チャレンジ —— スタイリスト編

アートギャラリーの企画・運営をスタート 日本のインテリアにアートを

飯沼朋子 氏 (テコール東京)

JR新宿駅南口から徒歩7分の立地にオープンしたアートギャラリー「FUJI GALLERY SHINJUKU」。そのオープニングイベントとして、5月12日～27日、「en」～グラフィカル書～CROSSする領域～（堀内肇氏）が開催、グラフィカルで古典的な作品に注目が集まった。

この「FUJI GALLERY SHINJUKU」の企画・運営を手掛けるのが飯沼朋子氏（テコール東京・代表）だ。飯沼氏は本紙2015年2月10日号でも紹介した、「ウォールイノベーション」をコンセプトに壁面装飾にこだわるインテリアデザイナー。デジタルプリント壁紙もいち早く取り入れるなど、常に業界の最前線で活躍している。その飯沼氏が新たなチャレンジとして取り組みはじめたのが、アートギャラリーの企画・運営である。

「海外ではインテリアにアートを



飯沼朋子氏

ごく自然に取り入れています。とても豊かだと感じます。日本人はシンプルな空間を好みますが、だからこそ、個性を發揮したり空間の完成度を高めるためにアートは有効です。アートに可能性を感じます」と飯沼氏。

一方のアーティスト側は、自分の世界観を表現することに固執するばかりに、実際に作品を飾る空間のイメージは二の次になりがちだ。

そこでギャラリーで行う企画展では、展示作品をアーティストに任せっきりにするのではなく、要望を伝え、一緒に創りあげていくこと。

このように、ギャラリーをインテリアデザイナーである飯沼氏が手掛けることの意義とは、単に作品を展示・販売するのではなく、インテリア空間にマッチする、空間をより魅力的にするアートを提案していくところにある。オーダー・アートの提案も積極的に行う方針だ。

「作家さんの世界観を大切にしつつも、購入する側の自己表現にもつながる作品を販売していきたいと思っています」

今後はインテリアデザイナーならではの視点を活かし、設計、建築、ICなどB to Bに対する提案を積極的に行い、アート購入の場を提供していきたいとのことだ。



ギャラリースペース



企画展「グラフィカル書」のオープニング